



# 一般社団法人 鹿児島県住宅産業協会 KAJUKYO

鹿住協だより Vol. 18  
2018年 5月号

【事務局】  
〒890-0069 鹿児島市南都元町14-9 三洋ハウスビル3F  
TEL 099-285-0101 FAX 099-285-0122

## 2018年度通常総会 魅力ある未来都市を創生

### 神輿検討部会設立へ



新年度事業計画などを承認した総会

県住宅産業協会（逆瀬川勇理事長）は5月17日、鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで2018年度通常総会を開いた。魅力ある未来都市の創生および快適でエコな都市開発などを柱とする新年度事業計画を承認した。

議事では、逆瀬川理事長（三洋ハウス株）を議長に選出し、全5議案を審議。17年度事業・決算報告および18年度事業計画・予算案など、執行部原案通り可決した。また、「鹿児島おぎおんさあ」参加に向けて、神輿検討部会設立も決定したほか、西元春義副理事長（株富士土木エンジニアリング）の役員退任に伴い、田中昭弘氏（南州コンクリート工業株）が新たに理事に就いた。

新年度事業計画は、①住宅および宅地の供給、流通に関する事業の発展②会員企業の資質向上を目指した各委員会活動の充実③鹿児島おぎおんさあ神輿検討部会設立に向けた活動一など。

逆瀬川理事長は、「この1年を振り返ってみると、全国住宅産業協会主催の全国大会を盛大に開催できたことが最大の収穫であった。会員の協力にあらためて感謝申し上げます」「会員数も順調に増加しており、今年度も一致団結して事業運営に取り組んでいきたい」と抱負を述べた。

このほか、役員を退任した西元副理事長に逆瀬川理事長から感謝状を授与し、これまでの功績を称えた。また、役員変更に伴い、宅地開発委員会の委員長に山口俊彦氏（株アイランドホーム）、副委員長に田中昭弘氏が就任した。



西元春義副理事長へ感謝状贈呈

## 懇親会



来賓挨拶で祝辞を述べる  
福留章二鹿児島市都市計画部長

来賓挨拶では、福留章二鹿児島市都市計画部長が「日ごろより市政に対する協力に感謝申し上げます。引き続き、安全で良質な宅地・住宅の供給を通して、住みよいまちづくりに力添えをお願いしたい」と祝辞を述べた。

総会終了後は懇親会を開催。会員や来賓など約100人が参加。挨拶に立った逆瀬川理事長は、「鹿住協の活動が本県住宅産業の発展に寄与するものと考えている。会員相互がワクワクするような協会を目指して、さらなる結束を図っていきましょう」と協力を呼び掛けた。

また、柴立鉄彦県議会議長をはじめ、保岡宏武自民党鹿児島県ふるさと創生支部長、中島蔵人鹿児島市議、川越桂路鹿児島市議、和田里志始良市議、永山勇人鹿屋市議ら顧問団も登壇。「行政に対しては、協会発展のために働き掛けを行っていく」「住宅産業界に役立つ施策に取り組んでいきたい」などと、言葉を寄せた。

福永貴幸県土木部住宅政策室長の乾杯の音頭で開宴。参加者らは互いに杯を酌み交わし、今後の展望を語り合った。



福永貴幸県土木部住宅政策室長の音頭乾杯

## セミナー／鹿児島県の住宅政策について



鹿児島県の住宅政策について説明する講師

同日は、総会前にセミナーも実施。県土木部建築課住宅政策室の渡島秀夫技術補佐が講師を務め、鹿児島県の住宅政策について講話し、住宅建設の状況や国の計画概要、本県の住宅政策の基本的な方針を説明した。渡島氏は、「少子高齢化が進み、空き家率も全国と比較しても非常に高い」と前置きし、「既存住宅の流通と空き家の利活用を促進し、住宅ストック活用型市場への転換を図っていく必要がある」とポイントを挙げたほか、住宅関連税制（すまい給付金、住宅ローン減税）の拡充、延長にも触れ、今後とも注視していく必要性を促した。

### 次回定例会のご案内

next schedule

日時 平成7月19日(木) 18:00～ 場所 鹿児島サンロイヤルホテル (鹿児島市与次郎)

セミナー

演題：「成長企業と、なる為の働き方改革について」

講師：社会保険労務士法人 HR Trust パートナー

濱田 英彰氏

受付 17:30～

セミナー 18:00～19:00

懇親会 19:00～20:30